

経尿道的前立腺切除術を受ける方へ

患者氏名 _____ 様

病状説明：前立腺肥大を認めます。 それが排尿困難の原因となっています。 入院期間は7～10日です。				退院基準：血尿がスケール2以下である。 排尿困難がない。 麻酔の影響(頭痛や嘔気)がない。			
検査 治療 処置	外来 ●胸部、腹部レントゲン撮影 ●心電図検査 ●血液検査 	入院当日(/) ●身長、体重を測定します ●リハビリドをつけます。 □ 午前手術の場合は、 左手に点滴用の管を 夕方に入れます。 (シャワー浴後)	[前] 手術当日(/) [後] □ 午後手術の場合は、 10時頃に左手に点滴用の管を 入れます。 	術後1日目(/) ●朝6～7時頃採血があります。 ●尿道の固定を はずします。  ●体温・脈拍・血圧を 1日3回 測ります。 ●洗浄を中止します。	術後2日目(/) ●体温・脈拍・血圧を 1日1回測ります。	術後3日目～5日目 ●尿が出にくいときは、 管で尿をとります。	術後6日目～退院
薬剤	●普段内服している薬が ありましたらお知らせ下さい ●脳梗塞や心臓の病気、血液の 病気などで、血液が固まり にくくなる薬などは、必ず 申し出て下さい。	●下剤2錠を21時に内服 してください。	□ 午前手術の場合は午前7時頃から 点滴が始まります。 □ 午後手術の場合は午前10時頃から 点滴が始まります。	●抗生剤の点滴を行いません。 ●痛みがある時は痛み止め、 熱がある時は解熱剤を 使うことがあります。			
安静度 リハビリ テーショ	●普段通りの生活ができます。		●手術着に着替えた後、 歩いて手術室へ行きます。	●術後6時間まではベッド上安静です。 帰宅6時間後からつきがなく、 血圧・脈拍等に異常なく気分不快が なければ看護師が付き添い リハビリ歩行ができます。 ●お食事のときだけ、頭を少し上げる ことができます。		●病院内歩行できます。	
排泄				●尿の管が入ります。 ●術後6時間まではベッド上排泄です。 その後、麻酔がさめて歩行が できれば普段通り排泄ができます。		●尿道の管を抜きます。  尿道の管を抜いた後、 排尿日誌をつけてもらいます。	
清潔	●入浴できます。	●シャワーをしてください。	●朝、洗面・歯磨きをして下さい 男性はヒゲを剃って下さい。 ●油分の多いクリームをつけたり、 マニキュアや化粧は止めて下さい。 ●時計・指輪等のアクセサリー、 入歯、かつら等外せるものは外して 下さい。	●体を拭き、パジャマに 着替えます。		●膀胱の洗浄が中止されたら シャワー浴ができます。 	
食事 栄養管理	●普通食が食べられます。	●食事は、夕食まで 食べられます。	●食事を摂ることはできません。 ●水分は、お茶・水のみ()時 まで摂ることができます。 それ以降は摂ることができません。	●帰宅後、全身状態が落ち着いて いれば、2時間後より水分・食事を 摂ることができます。 		●退院療養計画書をお渡します。 ●退院後の生活についての 説明があります。(医師・看護師) ●必要時、薬剤師より 薬の説明があります。 ●手術後の経過と手術時に 提出した検査の結果を お話します(医師) ※後日外来での説明になる こともあります。 	
説明 指導 教育	<手術に必要な物品> □ コップと曲がるストロー □ 入歯入れ(必要時) ※一つずつに名前を書いて下さい。 ※手術前日に看護師が確認します。 ※手術当日に看護師が預かります。	●病棟の案内をします。 ●手術前後の経過について 説明します。(看護師) ●手術室看護師の訪問が あります。 ●薬剤師の訪問が あります。 ●眠れない時は、看護師に お知らせください。	●手術室に行く前に 排尿を済ませて下さい。 ※手術室に入室する時刻 (時 分の予定) ※手術中、ご家族はA棟5階の食堂で お待ち下さい。 (個室の方は個室でお待ち下さい。) 原則病棟内でお待ちください。やむを 得ず病棟外へ行く場合は看護師に声掛 けしていただくようお願いいたします 	●ご家族の方へ主治医から手術結果の 説明があります。	●麻酔の影響で吐気・頭痛が 起こる事があります。 安静臥床で緩和します。 水分を多めに摂るように しましょう。 	●尿道の管が抜けた後、 しばらくは血尿や排尿時痛 などがあります。 水分を十分とりましょう。	
サイン欄							

※この用紙に記載された内容は予定であり病状に応じて内容・入院日数の変更はありますが、日々説明を行っていきます。ご不明な点はお気軽にお伝え下さい。